

「ラッパの裁き6」

黙9:12~21

1. はじめに

(1) キリストの再臨の前に何が起こるかを見ている。

①6章から大患難時代が始まる。

*巻き物の封印が解かれる。最初の6つの封印。

②7章は挿入句である。

*144,000人のユダヤ人による世界宣教

*大患難時代の殉教者たち

③8章で第7の封印が解かれる。

*その内容が8:1~19:10まで続く。

*第7の封印の内容は、7つのラッパの裁きと7つの鉢の裁きである。

*ラッパの裁きの前半の4つ(8章)は、自然界に対する裁きである。

*ラッパの裁きの後半の3つ(9章以降)は、人類に対する裁きである。

・第5のラッパの裁き=第1のわざわいの裁き

・第6のラッパの裁き=第2のわざわいの裁き

・第7のラッパの裁き=第3のわざわいの裁き

④9章は第5と第6のラッパの裁きである。

*第5のラッパは、神の裁きのターニングポイントとなるものである。

*第6のラッパで、大患難時代の前半が終了する。

2. アウトライン

(1) これから来る2つのわざわいの裁き(12節)

(2) 4人の天使の解放(13~15節)

(3) 2億の軍勢(16~19節)

(4) 悔い改めない人々(20~21節)

3. 結論: 大患難時代の前半を通して起こっていること

(1) 世界の政治状況

(2) 144,000人のユダヤ人による世界大のリバイバル

(3) 2人の証人の働き

(4) エリヤの働き

(5) 偽教会バビロンの存在

第6のラッパの裁きについて学ぶ。

I. これから来る2つのわざわいの裁き(12節)

1. 12節

Rev 9:12 第一のわざわいは過ぎ去った。見よ。この後なお二つのわざわいが来る。

(1) 3つのわざわいの裁きがある。

- ①第1のわざわいは過ぎ去った。=第5のラッパの裁き
- ②なお2つのわざわいが来る。=第6と第7のラッパの裁き
- ③「わざわい」とは、不信者の大患難時代における状況である。

(2) 今日、サタンと悪霊どもの働きは制限されている。

- ①ラッパの裁きにおいては、サタンと悪霊どもの実相が明らかになる。
- ②歴史上初めて、不信者全員がサタンと悪霊によって苦しめられる。

II. 4人の天使の解放(13~15節)

1. 13~14節

Rev 9:13 第六の御使いがラッパを吹き鳴らした。すると、私は神の御前にある金の祭壇の四隅から出る声を聞いた。

Rev 9:14 その声がラッパを持っている第六の御使いに言った。「大川ユーフラテスのほとりにつながれている四人の御使いを解き放せ。」

(1) 第6のラッパの裁きが始まる。

①金の祭壇の四隅から声が出る。

*この裁きには、殉教した聖徒たちの祈りへの答えという側面がある。

②この声は、ラッパを持っている第6の御使いに命じる神の声である。

「大川ユーフラテスのほとりにつながれている四人の御使いを解き放せ」

(2) 4人の御使いが誰であるかを確定することは、この箇所を理解するために重要。

①この4人の御使いは、黙7章の4人の御使いとは異なる。

*黙7章の4人の御使いたちは、144,000人のユダヤ人たちの額に印が押されるまでは、裁きを開始しないように命じられた。

②この4人の御使いは、墮天使たちである。

③聖書には、聖なる天使が囚われている例は出てこない。

④「つながれている」という動詞の時制は完了形である。

*ある時点で、何かの罪を犯したためにつながれた。

*その状態が、継続している。

⑤「大川ユーフラテスのほとり」とは、今のイラクである。

*この地域は、伝統的に多くの偶像礼拝と偽宗教が誕生した場所である。

*彼らは、東からの侵略軍を指揮するようになる。

(3) 4人の墮天使たちが解き放たれるのは、第6のラッパの裁きを実行するため。

2. 15節

Rev 9:15 **すると、定められた時、日、月、年のために用意されていた四人の御使いが、人類の三分の一を殺すために解き放された。**

(1) 神が裁きのタイミングを定めておられる。

①「定められた時、日、月、年」とは、裁きの期間を示したものではない。

②神の主権を示している。

(2) ヨナ1:17

Jon 1:17 **【主】は大きな魚を備えて、ヨナをのみこませた。ヨナは三日三晩、魚の腹の中にいた。**

①魚は、不従順なヨナを裁くために備えられた。

②同じように、4人の墮天使たちは、人類の3分の1を殺すために備えられた。

(3) 人類の3分の1が殺される。

①キリストの再臨の前に起こる出来事の中で、最も悲惨なもののひとつである。

②第4の封印の裁き(黙6:7~8)で、人類の4分の1が死んだ。

③ここでは、生き残った「4分の3」の「3分の1」が殺される。

④ $3/4 \times 2/3 = 6/12 = 1/2$

⑤第6のラッパの裁きが終わると、人類は半分しか生存していないことになる。

⑥ノアの洪水以来、最大規模の裁きが下るのである。

Ⅲ. 2億の軍勢(16~19節)

1. 16節

Rev 9:16 **騎兵の軍勢の数は二億であった。私はその数を聞いた。**

(1) 騎兵の軍勢の数は2億であった。

①その数は数えることが不可能である。

②ヨハネは、その数を勝手に作り出したのではなく、聞いたのである。

(2) これは、実際に2億の兵士たちからなる軍勢であるとする人たちがいる。

①中国の兵士か。

* (Time, May 21 1965, p. 35)

②インドの兵士か。

③これは、「新聞記事に基づく釈義」である。

(3) 正しい解釈は、悪霊の軍勢と考えることである。

①第5のラッパの裁きでは、悪霊(いなご)の数は明記されていなかった。

②第6のラッパの裁きでは、悪霊は2億と明示されている。

2. 17節

Rev 9:17 私が幻の中で見た馬とそれに乗る人たちの様子はこうであった。騎兵は、火のような赤、くすぶった青、燃える硫黄の色の胸当てを着けており、馬の頭は、獅子の頭のように、口からは火と煙と硫黄とが出ていた。

(1) 騎兵と馬の描写

①中国兵の描写ではあり得ない。

②これを近代戦の預言と解釈する人もいる。

③これは、2億の悪霊どもの軍勢の描写である。

3. 18～19節

Rev 9:18 これらの三つの災害、すなわち、彼らの口から出ている火と煙と硫黄とのために、人類の三分の一は殺された。

Rev 9:19 馬の力はその口とその尾とにあつて、その尾は蛇のようであり、それに頭があつて、その頭で害を加えるのである。

(1) 馬の威力が強調されている。

①その口から出ている火と煙と硫黄によって人を殺す。

*3つの災害のことであろう。

②尾は蛇のようで頭があつて、それで害を加える。

(2) 人類の3分の1が殺される。

IV. 悔い改めない人々 (20～21節)

1. 20～21節

Rev 9:20 これらの災害によって殺されずに残った人々は、その手のわざを悔い改めないで、悪霊どもや、金、銀、銅、石、木で造られた、見ることも聞くことも歩くこともできない偶像を拝み続け、

Rev 9:21 その殺人や、魔術や、不品行や、盗みを悔い改めなかった。

(1) このような裁きを経験しながら、生き残った人々は悔い改めなかった。

①人類の罪と墮落の深さを示している。

(2) 彼らは宗教熱心である。

①偶像礼拝を継続する。

②悪霊ども、金、銀、銅、石、木で造られた偶像を拝み続ける。

③教会が携挙されているので、偽の宗教が蔓延する。

(3) 彼らは罪の生活を続ける。

①殺人、魔術、不品行、盗みを悔い改めない。

結論：大患難時代の前半を通して起こっていること

1. 世界の政治状況

(1) 10人の王による世界支配

(2) 現在、世界には200ヶ国前後の国が存在する。

(3) 将来統合されて、世界は10ヶ国に分割される。

(4) ダニ7:22~24の預言（10本の角の預言）

2. 144,000人のユダヤ人による世界大のリバイバル

(1) 黙7章で、すでに見た。

(2) 彼らの額には、印が押されている。

3. 2人の証人の働き

(1) 2人の証人が復活する。

(2) これは、ヨナのしるしの第3番目のものである。

(3) 黙11章で学ぶ。

4. エリヤの働き

(1) 預言者エリヤが奉仕する。

(2) マラ4:5~6

Mal 4:5 見よ。わたしは、／【主】の大いなる恐ろしい日が来る前に、／預言者エリヤをあなただたに遣わす。

Mal 4:6 彼は、父の心を子に向けさせ、／子の心をその父に向けさせる。／それは、わたしが来て、／のろいでこの地を打ち滅ぼさないためだ。」

5. 偽教会のバビロン

- (1) 宗教組織としてのバビロンが存在する。
- (2) 黙17章で学ぶ。

まとめ

- (1) 第6のラッパの裁きは、恐れを生み出したが、悔い改めは生まなかった。
- (2) 聖霊による新生体験だけが、真の悔い改めを生む。